

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 3 年 1 月 8 日 (20 : 00 ~ 21 : 00)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	常勤 5 名、非常勤 5 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	9 人	0 人	0 人	10 人

前回の改善計画	新規の利用者の最低限の情報をまとめた書式を作り、全員が同じ情報を共有できるようにしていきます。
前回の改善計画に対する取組み結果	書式は作成できませんでしたが、今年度は新規の利用者が利用開始する前に情報共有する時間を設けたため、スタッフが同じ情報を得たうえで利用者に関わることが出来ました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4 人	6 人	0 人	0 人	10 人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2 人	8 人	0 人	0 人	10 人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4 人	6 人	0 人	0 人	10 人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2 人	6 人	2 人	0 人	10 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用開始前のミーティングで情報を共有することが出来た上、現在利用している利用者の方との関係性や活動の組み方なども話し合うことも出来て、書式にまとめただけでは共通認識が難しいような内容もスタッフ同士で理解することが出来ました。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
新規利用者の利用開始前のミーティングは午前と夕方と 2 つの時間帯に行いましたが、それでも全員の参加は難しかったです。参加できなかった人への情報共有の方法を見直す必要があります。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
新規利用者の開始前の情報共有のミーティングをみんなが参加できるように時間や方法を工夫して実施していきます。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年 1月8日 (20 :00 ~ 21:00)
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	常勤5名、非常勤5名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	4人	6人	0人	10人

前回の改善計画	個人情報を留意しながら、全利用者の支援目標がすぐに確認できるような方法を考え、実践していきます。また日々の活動の提供についても、個々の目標に沿うことを前提にして組み立てたり、内容の工夫を検討していきます。
前回の改善計画に対する取組み結果	個々の利用者の支援目標を覚えるのは難しいので、ファイルなどにまとめることにはなりましたが、個別に綴るか、ケース記録に綴るかなど色々な意見が出ていて未だ模索中です。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0人	3人	5人	2人	10人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0人	3人	5人	2人	10人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0人	4人	6人	0人	10人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1人	6人	3人	0人	10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 月に1回のスタッフ会議にて、日常の中での利用者さんとの関りの中で起きた内容を検討することが出来、振り返ることができるので、次に利用者さんとの関わりに活かすことが出来ています。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 支援目標がすぐに確認できるようになっていないため、スタッフも“目標”に向かう意識が薄れてしまっています。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 個々の利用者の支援目標を誰でも分かりやすく、見やすい形で確認できる方法を引き続き、検討し実践します。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 3 年 1 月 8 日 (20 :00 ~ 21:00)
3. 日常生活の支援	メンバー	常勤 5 名、非常勤 5 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	8 人	1 人	0 人	10 人

前回の改善計画	利用者の生活全体の関心を持ってもらうためにはどんな方法があるのかをスタッフみんなで検討し、実践しながら良い方法を見つけていきます。また、情報についてもどんな内容を知りたいのかを検討しながらスタッフ全員が情報を共有できるスタイルを見つけていきます。
前回の改善計画に対する取組み結果	日々の利用者との関わりの中で、体調や言動などで気になることがあった場合は、個別毎に分かれている記録用紙に記入し、スタッフ全体で検討が必要な場合は会議の議題に挙げて話し合えるような流れになるように再度話し合いました。今後この方法で利用者さんの日々の情報共有が上手く出来るか試行中です。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	0 人	2 人	6 人	2 人	10 人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2 人	8 人	0 人	0 人	10 人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1 人	6 人	3 人	0 人	10 人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4 人	6 人	0 人	0 人	10 人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1 人	7 人	2 人	0 人	10 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
スタッフは日々の利用者さんの体調の変化は気にかけています。変化があった場合は、家族に連絡をし、その後の対応を家族と一緒に考えるようにしています。気持ちを言葉で伝えられない方には、利用者さん本人の言動などを観察し、本人の気持ちに寄り添えるように努力しています。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
月 1 度のスタッフ会議に出席しない人がいるため、会議で決まったことも共有されにくいことがあります。会議録はあるものの、書面だけでは伝わりにくいこともあるようです。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
スタッフ会議の毎月の開催日を固定にし、時間内で終われようようにすることを伝え、会議への参加を促していきます。また、議題も前もって募集することで、ひとりひとりが参加意識を持ち、利用者さんの事や活動方法などを積極的に議論できるようにしていきます。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 3 年 1 月 8 日 (20 :00 ~ 21:00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	常勤 5 名、非常勤 5 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	6 人	3 人	0 人	9 人 未記入 1 人

前回の改善計画	緊急性のない個々の地域での生活スタイルなどの情報についてもきちんとスタッフ全員に共有できるような体制はどうしたらいいのかをスタッフで検討し、実践していきます。
前回の改善計画に対する取組み結果	全利用者さんではありませんが、会議で今後の支援に繋げていくために自宅での生活や地域との関わりについて、日常の関わりの中で得た情報を共有しています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0 人	6 人	3 人	1 人	10 人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1 人	7 人	1 人	0 人	9 人 未記入 1 人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0 人	4 人	4 人	1 人	9 人 未記入 1 人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0 人	0 人	7 人	2 人	9 人 未記入 1 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
スタッフ会議で今後の支援に繋げていくために、自宅での生活や地域との関わりを個々で得た情報を整理し共有しています。また、事業所の中で、気になる行動などがあつた場合は自宅での生活の様子を家族に伺ったりし、支援に繋げていくようにしています。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
スタッフの中でも家での生活が知りたいと思い、普段での関わりの中で聞いてみたりして意識している人もいますが、日々落ち着いて、特に支援するにあたって困ったことがない時は、利用者さんの家での生活は特に気にならないと思う人も多く、スタッフの中でも意識の差があります。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
利用者さんひとりひとりの生活に目を向けることができるようにするためには、どんな方法があるのか、どの方法が有効なのかを検討し、実践していきます。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 3 年 1 月 8 日 (20 :00 ~ 21:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	常勤 5 名、非常勤 5 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	5 人	2 人	1 人	10 人

前回の改善計画	限られた時間の中でもきちんと次に繋がるような記録として残るように、記録の書式を検討し、必要に応じて変更していきます。
前回の改善計画に対する取組み結果	入浴チェック表は誰でも見やすくなるように、入浴する日や時間が分かりやすくするために変更しました。現在介護記録について、タブレットでの使用やデータを全てサーバー上で管理することについてメリット、デメリットを含め変更するか検討しています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0 人	7 人	3 人	0 人	10 人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2 人	8 人	0 人	0 人	10 人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	4 人	5 人	1 人	0 人	10 人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3 人	6 人	1 人	0 人	10 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者さんや家族の生活や体調の変化等にその都度応じて、柔軟にサービスを提供しています。スタッフひとりひとりが日常の利用者さんの気づきをその場のスタッフと共有したり、会議などでも話して、解決に向かうように意識しています。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 複数の記録があり、個人の情報をまとめる必要がある時には、時間がかかってしまい、スタッフの負担になります。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 記録全般の見直しをするために、電子化への移行なども含め、検討していきます。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年1月8日(20:00～21:00)
6. 連携・協働	メンバー	常勤5名、非常勤5名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	3人	4人	2人	10人

前回の改善計画	地域へ向けての介護支援専門員と管理者と介護職の役割についてスタッフ会議などを利用して、確認し合い、介護支援専門員と管理者はその他のサービス機関との会議や地域包括支援センター主催の会議に参加し、顔見知りになり外部との連携や協働に繋げていきます。 介護職は地域に出る活動を積極的に取り入れ、地域と繋がっていけるようにします。
前回の改善計画に対する取組み結果	新型コロナウイルス感染予防の観点から、研修や地域のイベントなどもほとんど行われていません。ふれんどりいの地域へのイベントも中止にしましたが、地域を歩く防犯パトロールなどの活動は行えました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	0人	2人	3人	2人	7人 未記入3人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0人	0人	3人	4人	7人 未記入3人
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0人	0人	3人	4人	7人 未記入3人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0人	0人	4人	3人	7人 未記入3人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
会って話すことは難しいことが多いですが、必要に応じてその他のサービス機関などには連絡を取り合い連携しています。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
コロナ禍のため、担当者会議や地域の研修の開催の回数も減っています。また、地域との関わりのできるふれんどりいのイベントも全て中止にしました。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
今後どのような状況になっていくかわかりませんが、会って行えないなら、様々な方法(電話やリモートなど)を駆使して連絡を取り合い、連携していけるように努力していきます。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 3 年 1 月 8 日 (20 :00 ~ 21:00)
7. 運営	メンバー	常勤 5 名、非常勤 5 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	7 人	1 人	0 人	10 人

前回の改善計画	スタッフひとりひとりが情報を理解するとともに、自分だけで仕事をしていくのではなく、スタッフ同士声を掛け合い、フォローし合いチームとして仕事を進めていきます。
前回の改善計画に対する取組み結果	スタッフ同士情報や意見の交換をし、スタッフみんなで進めていこうと努力しています。スタッフでの介護に対しての温度差がある時があり、その差を感じた時には言いづらい場面が出てくることもあります。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	2 人	7 人	1 人	0 人	10 人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2 人	7 人	0 人	0 人	9 人 未記入 1 人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2 人	6 人	1 人	0 人	9 人 未記入 1 人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0 人	4 人	4 人	0 人	8 人 未記入 2 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 地域の方から運転のマナーについて意見があった際は、すぐに対処し、事業所内での運転手を対象とした会議を設け、その意見に対してみんなで向き合い、対処方法を検討し、実行しました。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること スタッフ間で介護に対しての意識の温度差を感じる時があり、その時は自分の意見に自信がなくなり、意見を言いづらくなることがあります。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 現場での困ったこと、迷ったことなどをスタッフ会議でスタッフ同士で討論できるように、会議の内容や進行方法などを工夫していきます。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 3 年 1 月 8 日 (20 :00 ~ 21:00)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	常勤 5 名、非常勤 5 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	7 人	2 人	1 人	10 人

前回の改善計画	スタッフがどんなことに興味があるのか、どんな勉強をしたいのかを知るためにアンケートを実施し、その結果を反映してどんな研修を組み込んでいくかを検討します。
前回の改善計画に対する取組み結果	スタッフ全員に記名式で『学びたいこと』『資格の取得希望』などのアンケートを実施しました。今年度の職場内研修は思うようにうまく行えませんでした。コロナ禍のためたくさんの人が集まる研修は行えないため最小限必要な研修のみで行いました。今後は集まって行う研修は難しいこともあり、資料を読んでレポートを出してもらう形で書面での研修も考えています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	0 人	4 人	3 人	3 人	10 人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0 人	1 人	5 人	3 人	9 人 未記入 1 人
③	地域連絡会に参加していますか	0 人	1 人	3 人	4 人	8 人 未記入 2 人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0 人	2 人	5 人	2 人	9 人 未記入 1 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 研修のアンケートを実施したことで、スタッフがどんなものに興味があり、学びたいと思っているのかを知ることができました。今後の研修を検討するためにも良いものになりました。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること コロナ禍のため、3 密を避けられないと判断し、思うように研修が行えませんでした。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 今回実施した研修のアンケートを参考にして研修の予定を組み、スタッフひとりひとりのスキルアップに繋がっていけるようにします。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年 1月8日 (20 :00 ~ 21:00)
9. 人権・プライバシー	メンバー	常勤5名、非常勤5名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	9人	0人	0人	10人

前回の改善計画	現在に引き続き、利用者ひとりひとりの人権を尊重し、スタッフ全員で適正なサービスが提供できるようにしていきます。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者さんをひとりの人として尊重し、利用者さんの気持ちに寄り添ってスタッフ全員が意識して関わっています。落ち着いた利用者さんの対応の時には長い時間同じスタッフが関わっているとイライラしてしまい、優しい声掛けが出来なくなってしまうことがあったため、その時はすぐに会議の中で自分たちの介護を振り返り、関わり方などを再度確認し合いました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	6人	4人	0人	0人	10人
②	虐待は行われていない	8人	2人	0人	0人	10人
③	プライバシーが守られている	4人	6人	0人	0人	10人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1人	6人	1人	0人	8人 未記入1人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4人	6人	0人	0人	10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること スタッフは身体拘束や虐待は行わないように常に意識して支援しています。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 気持ちが落ち着いた利用者さんの対応の際には、頭ではわかっているがスタッフ自身に余裕がなくなると、イライラしてしまったり、自然と冷たい声かけになってしまったり、気付くかといううちにスタッフの感情が態度で出てしまうことがありました。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) スタッフの感情やその場の雰囲気などは利用者さんに伝えることを認識し、スタッフは自分自身の感情や状態を冷静に認識できるように努力していきます。もし余裕がないと思った時には他のスタッフに代わるようにし、不適切介護にならないようにしていきます。
---------------	---

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社 ふれんどりの郷	代表者	筒井すみ子	法人・事業所の 特徴	有限会社ふれんどりの郷は座間市内に2つの小規模多機能型居宅介護事業所と2つの地域密着型通所介護事業所を運営します。『ふれんどりの郷』は利用者さんの気持ちに寄り添い、歳を重ねていっても住み慣れた地域で馴染みのある人たちに囲まれて生活ができるようにサポートしています。私達の事業所では“介護される”、“介護する”という関係ではなく、同じ時間を過ごす仲間として日々過ごしています。特に現在は利用者さんの“生きる力”を大切に、活動内容や関わり方なども工夫して、利用者さんの“生きる”に寄り添いながら支援していきます。
事業所名	ふれんどりの郷	管理者	中村順子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	5人	0人	0人	1人	人	3人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	自己評価の項目の中で一番評価の低かった“質を向上するための取組み”について、スタッフの質の向上やスキルアップに関してどう考えているのかをアンケートなどを使用して把握します。また、その結果を参考にしながら研修や勉強会をできるようにし、質の向上に繋げていきます。	スタッフ全員に対して今後の学びたい事や資格取得の意向のアンケートを実施しました。集計までは出来ましたが、コロナ禍でもあり、研修までは行えませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価の未記入項目がある方がいるようなので、より多くの意見を反映した評価になるといいと思います。 前回の改善計画に対する取組みが引き続き必要な項目が見受けられるので、今後も改善に向けて具体的な取組みを行っていただければと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 前回の改善計画が達成されていないので、スタッフ向けのアンケートの集計結果をもとに研修内容を見直していきます。
B. 事業所のしつらえ・環境	古い建物ですが、室内は清潔に保ち、人も環境と捉え、スタッフの利用者さんへの関わり方も気を付けるよう意識統一をしています。また、季節を感じられように季節の花なども飾り、明るい雰囲気を作っていくよう努めます。	室内は清潔に保てるように意識していますが、古い建物なので棚やふすまなど、補修が必要なところも出てきています。	<ul style="list-style-type: none"> 県のマニュアル等を参考に、感染症予防のための環境整備に今後も努めていただければと思います。 季節を感じられるような工夫を花以外でも絵や壁飾り等を含めて続けて頂きたいです。 	建物内で補修が必要な個所を点検し、補修の必要性が高い順で補修をしていきます。

C. 事業所と地域のかかわり	地域の方々がカフェを気軽に利用できるような環境作りに力を入れ、看板や駐車場の整備なども含め検討していきます。	現在新型コロナウイルス感染症予防のため地域の方のカフェへの来店はお断りさせて頂いています。	<ul style="list-style-type: none"> ・再開前の時間のある時に環境準備をされたらと思います ・小規模多機能というサービス自体は一般の方にはまだあまり馴染みがないと思いますが、近隣の方へはカフェやイベントを通じ知られてきているのではないのでしょうか。 	再開したときのために少しずつ看板や駐車場の整備なども含め検討し進めていきます。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	事業所内にこもることなく、地域に出ていく活動内容を組み込んでいきます。また、個々で通いなれた美容院やスーパーなども大切に、個々の地域での生活を支えています。	コロナ禍で活動内容を大きく変更せざるをえない状況ではありましたが、感染予防の徹底をしながら事業所周辺のパトロールを兼ねての散歩を実施しました。通いなれたスーパーや美容院への手伝いは感染予防を徹底し、必要最低限で行いました。	・コロナ禍で地域に出向くことは難しい状況でもパトロールなど、できる範囲で行っていらっしゃるようなので、今後も工夫して行っていただければと思います。	コロナ禍ではありますが、部屋にこもりきりになるのではなく、感染対策を徹底しながら、活動内容を工夫しながら実施していきます。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進委員と一緒に地域の方向けの講座や催しの開催について検討します。	コロナ禍のため、地域の方々を集めての研修や催しは難しい状況と判断し、実施できませんでした。	コロナが落ち着いたら開催できるよう今のうちからテーマの候補を考えていければ良いと思いました。	コロナ禍でもできることを考え、検討していきます。
F. 事業所の防災・災害対策	運営推進会議がある日に避難訓練を企画し、運営推進委員にも参加してもらえるようにします。	新型コロナウイルスの感染予防のため、会議は書面会議となり、運営推進委員との避難訓練は実施できていません。	自然災害が多くなり、何時かは大規模な災害も懸念される昨今、仮に貴事業所の様な施設が近隣の避難等にも寄与できる部分も期待したいです。	運営推進委員の方にも様子を知ってもらうために、避難訓練の結果を動画や写真を使用し報告していきます。

